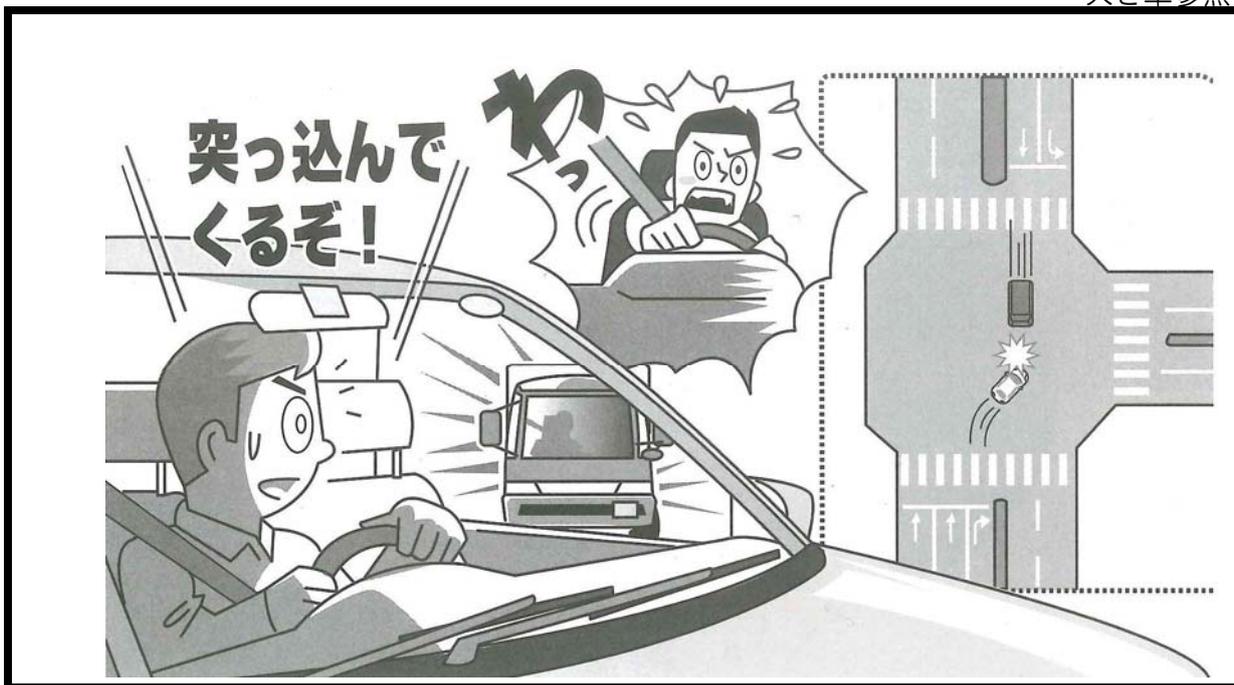


■事故の概況

人と車参照



事故類型：右折直進時
発生日時：昼過ぎ
当事者A：普通乗用車 30歳代 男性
当事者B：普通貨物車 40歳代 男性

■ 事故の概要

Aは片側二車線の道路を走行していました。比較的大きく見通しの良いT字路交差点を右折しようと右折車線へ入りました。前車が右折の合図を出しており、前方の信号も青だったので、Aは前車に追従しゆっくりと交差点に進入しました。前車が右折を終え、追従するようにAも右折を開始したところ、前方からB車が走行してくるのを発見しました。交差点に入ったばかりでしたが、先に通れると思い加速したところ、B車と衝突しました。一方Bは、時速約50kmで走行していました。青信号で進入した交差点内で右折をしているA車を発見した瞬間、衝突をさけようと左にハンドルを切ったところ、A車と衝突しました。

■ 事故から学ぶ

この事故の直接の原因は、A車の安全不確認です。早く右折したいという気持ちが「停車しようか」「行ってしまおうか」と迷ったときに「進む」という判断をさせてしまいました。B車を見たときに「止まる」という選択肢もあったはずですが、「早く行きたい」という気持ちに打ち消され、さらに「自分のほうが先にいける」と相手の速度を見誤ってしまいました。

お互いが自分を優先させてしまったことも原因ではないでしょうか。交差点では自分が優先であっても、すぐにブレーキがかけられるように準備をしておきましょう。

運転するときは運転に集中し、自分の目で安全を確認することが大切です。